

**CASBEE京都-新築(2011年版)**  
**特別養護老人ホーム 宝生苑**

■使用評価マニュアル/CASBEE京都-新築(2011年)  
 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>										<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
<b>1.1 騒音</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1	室内騒音レベル			<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00			
<b>1.2 遮音</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1	開口部遮音性能			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.30			
2	界壁遮音性能			<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.30			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	<b>3.0</b>	0.20			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)				-	<b>3.0</b>	0.20			
<b>1.3 吸音</b>				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.6</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00			<b>2.6</b>
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
1	室温			<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	0.57			
3	外皮性能			<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.43			
4	ゾーン別制御性			<b>3.0</b>	0.38		-			
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2.3 空調方式</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.3</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.3</b>
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>4.2</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30			
1	昼光率	●自然 A(全国版準用)	別紙資料参照	<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60			
2	方位別開口				-		-			
3	昼光利用設備	●自然 B(推奨内容)		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
2	昼光制御	●自然 B(推奨内容)		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00			
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			
<b>3.4 照明制御</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25			
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.4</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.2</b>
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.63			
1	化学汚染物質			<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00			
<b>4.2 換気</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38			
1	換気量			<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33			
2	自然換気性能	●自然 A(全国版準用)			-	<b>3.0</b>	0.33			
3	取り入れ外気への配慮			<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33			
<b>4.3 運用管理</b>				<b>5.0</b>	0.20		-			
1	CO <sub>2</sub> の監視				-		-			
2	喫煙の制御		建物内は禁煙	<b>5.0</b>	1.00		-			
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-			<b>2.7</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.4</b>	0.40	<b>2.8</b>	1.00			<b>2.5</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60			
1	広さ・収納性				-	<b>3.0</b>	1.00			
2	高度情報通信設備対応				-		-			
3	バリアフリー計画	●大切 D(独自基準)		<b>3.0</b>	1.00		-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>1.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.40			
1	広さ感・景観	●とも C(独自加点)			-	<b>4.0</b>	0.50			
2	リフレッシュスペース				-		-			
3	内装計画	●とも D(独自基準)		<b>1.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>				<b>3.0</b>	0.30		-			
1	維持管理に配慮した設計			<b>3.0</b>	0.50		-			
2	維持管理用機能の確保			<b>3.0</b>	0.50		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.9</b>	0.31		-			<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.48		-			
1	耐震性			<b>3.0</b>	0.80		-			
2	免震・制振性能			<b>3.0</b>	0.20		-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.0</b>	0.33		-			
1	躯体材料の耐用年数	●大切 A(全国版準用)		<b>3.0</b>	0.23		-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			<b>3.0</b>	0.23		-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			<b>3.0</b>	0.09		-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			<b>3.0</b>	0.08		-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔			<b>3.0</b>	0.15		-			
6	主要設備機器の更新必要間隔			<b>3.0</b>	0.23		-			

2.4 信頼性					2.8	0.19		-	
1	空調・換気設備				1.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20		-	
3	電気設備			非常用発電設備設置、電気設備地下空間に無し	4.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性					2.8	0.29	2.5	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり					2.4	0.31	2.0	0.50	
1	階高のゆとり				2.0	0.60	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	0.38		-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース				3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)		2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	●とも、 自然	A'(全国版準用)		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	●とも	A(全国版準用)		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制					3.0	0.30		-	3.0
2 自然エネルギー利用					3.5	0.20		-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	●自然	A(全国版準用)	太陽光発電の設置	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化					5.0	0.30		-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)					ERR=42.8%				
集合住宅の評価									
4 効率的運用					3.0	0.20		-	3.0
4.1	モニタリング				3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制				3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護					3.0	0.15		-	3.0
1.1 節水					3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.9	0.63		-	2.9
2.1	材料使用量の削減	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)		3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.22		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				床及び壁紙の接着剤	4.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.68		-	
1	消火剤				-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50		-	
3	冷媒				3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮					4.3	0.33		-	4.3
2 地域環境への配慮					2.0	0.33		-	2.0
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		1.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減				-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制				3.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮					2.4	0.33		-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40		-	
1	騒音				3.0	0.33		-	
2	振動				3.0	0.33		-	
3	悪臭				3.0	0.33		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制					1.6	0.40		-	
1	風害の抑制				1.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-		-	
3	日照阻害の抑制				3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制					3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●大切	B(推奨内容)		3.0	0.30		-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目 重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う「とも」:ともに使う「自然」:自然からつくる